れきはくワークシート
チャレンジ！

常設展示室に展示されている資料について、ワーク(作業)をしながら、観察してみましょう。

持ち物

▲えんぴつ

▲ボード

①右の地図の★印の場所に行き、資料をさがしましょう。

▼

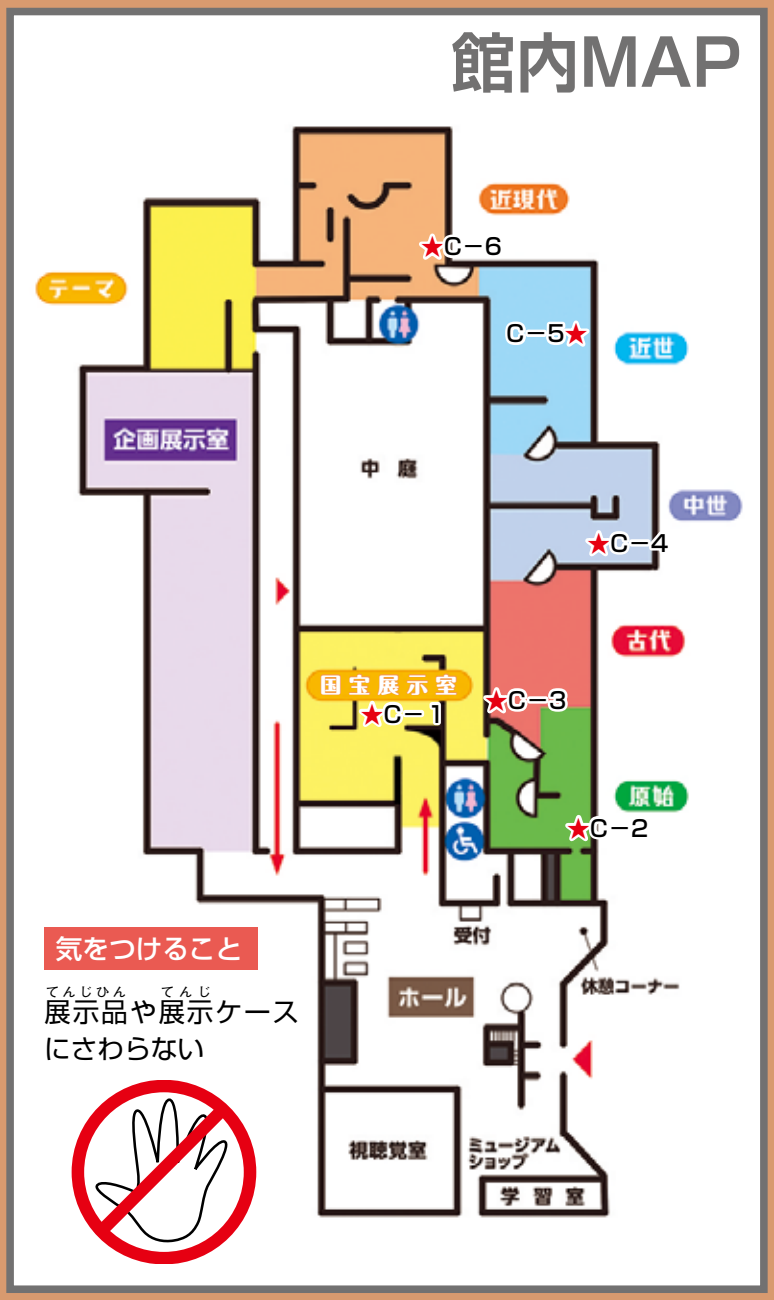
②問題に挑戦して、「気づいたこと」を記入しましょう。

▼

③ほかの資料も見ながら、次の資料をさがしましょう。

▼

④他のコースの人と、意見交流をしてみましょう。



学校	名前

C

★資料カード（C － 1） 国宝展示室（金色の部屋）

資料名	埴輪　連座する三人童女		
時　代	古墳時代	地　域	高崎市

観音山古墳から出土した埴輪「連座する三人童女」を見つけましょう。

一つの台座の上で、三人が同じポーズをしています。

どのポーズでしょうか？

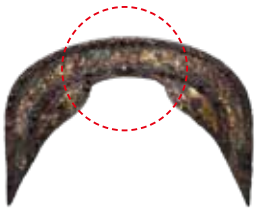
①

②

③

探そう、感じよう、考えよう

他にもきらびやかな副葬品がたくさん出土しました。



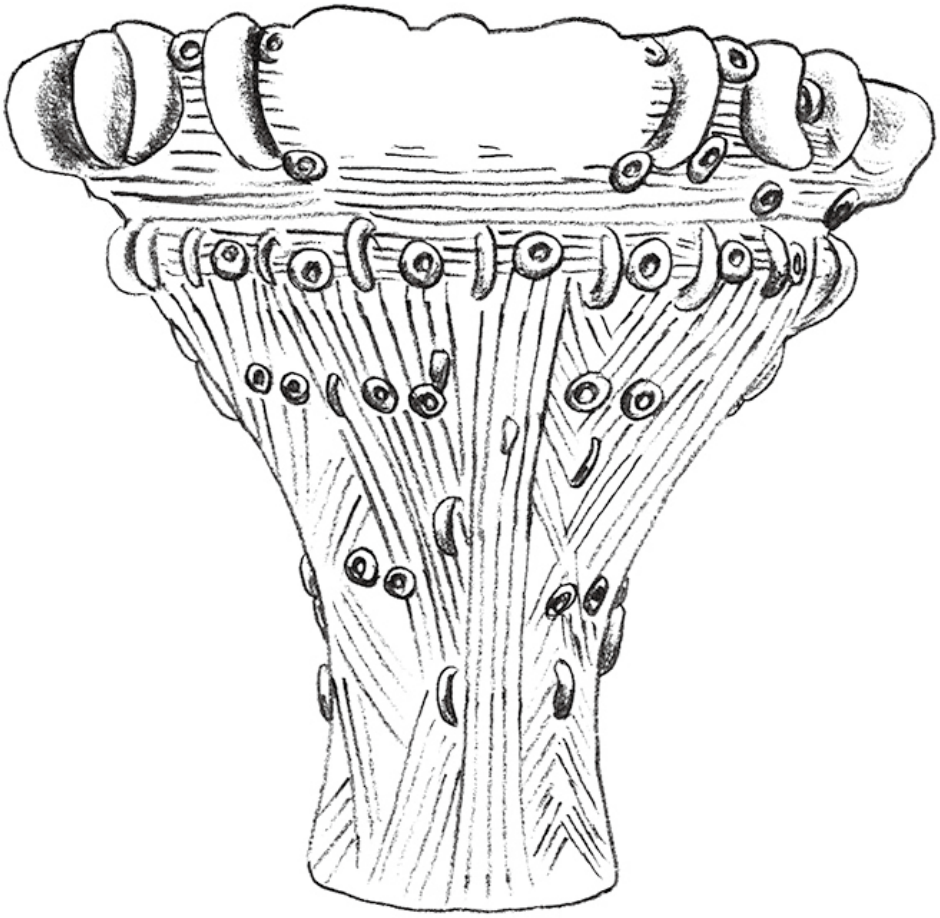
このベルトには鈴がついていますね。

鈴のついている埴輪もあります。探してみよう。

★資料カード（C － 2） 原始展示室（緑色の部屋）

資料名	深　鉢		
時　代	縄文時代	地　域	昭和村

縄文土器です。
足りない部分を描いてみましょう。



探そう、感じよう、考えよう

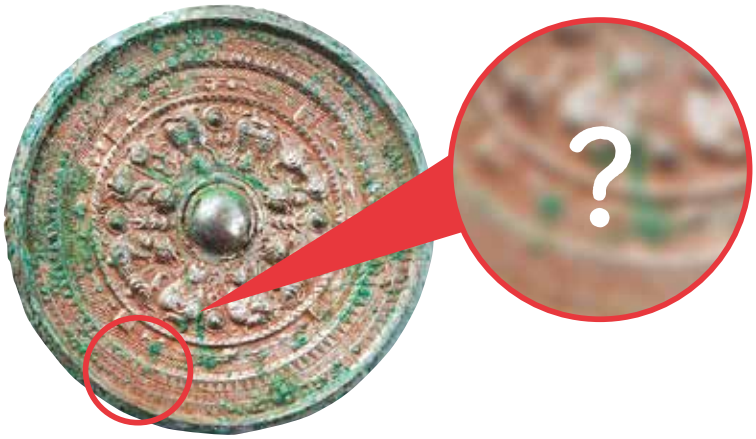
「縄文時代のくらし」と「弥生時代のくらし」２つのくらしぶりを比べて見てみよう。どっちが好き？

しゃがんで見ると
楽しいよ

★資料カード（C－3） 古代展示室（赤色の部屋）

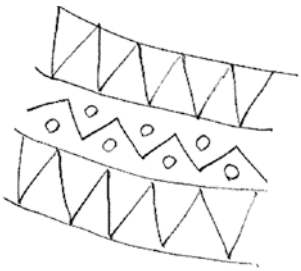
資料名	川井稲荷山古墳の三角縁神獣鏡		
時　代	古墳時代	地　域	玉村町

「三角縁神獣鏡」と呼ばれている銅鏡です。
ヤマト王権から地方の有力者に配られたと考えられています。
関東より北では、群馬県で最も多く出土しています。

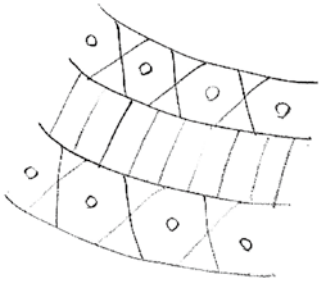


鏡をよく見てみましょう。
○で囲んだあたりの模様は
次のうちどれでしょうか。

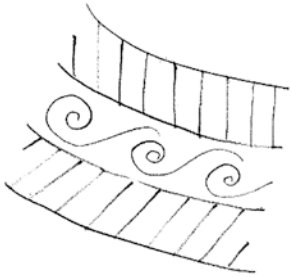
①



②



③



探そう、感じよう、考えよう

これらは全て古代の部屋にあります。この中で自分の家に飾りたいのはどれ？

★資料カード（C－4）中世展示室（灰色の部屋）

資料名	石造不動明王立像（複製）		
時　代	鎌倉時代	地　域	渋川市

これは鎌倉時代に石でつくられた仏像です。
実物は洞くつの中にあり、年に１度だけ見ることができます。
不動明王は、人々が道をふみはずさないように怒りの表情をしています。
それを表している口の部分をスケッチしてみましょう。

探そう、感じよう、考えよう

これは新田義貞の花押（サイン）です。

この部屋には他にも花押があります。

自分の花押（サイン）をつくってみよう。

★資料カード（C－5） 近世展示室（水色の部屋）

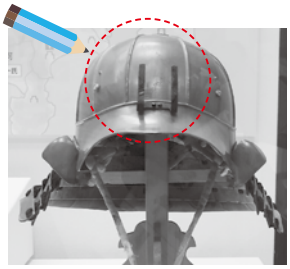
資料名	（　　）		
時　代	江戸時代	地　域	

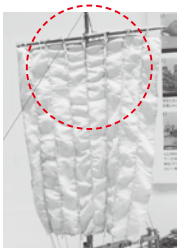
江戸時代になると、道が整備され、平和になったことから
多くの人やものが移動するようになりました。

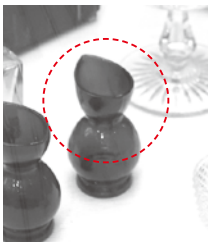
これは、旅をした人が持っていた箱です。
財布など大事な物を入れておくために使いました。
ところが、ほかにもう一つの使い方がありました。
さて、それは何でしょう？ 箱の名前がヒントです。

探そう、感じよう、考えよう

これらは全て近世の
部屋にあります。
色を想像してから、
探してみよう。







資料名	錦絵　横浜各国商館真図		
時　代	明治時代	地　域	

明治時代に外国との貿易が始まると、
群馬県の生糸は開港地横浜から輸出されました。

下の錦絵は、その頃の横浜の様子です。
実物とちがうところが３つあります。探して◯をつけましょう。

探そう、感じよう、考えよう

かべにある大きな絵を
見てみましょう。
群馬県富岡市にある
「富岡製糸場」の内部を
描いた絵です。
工女たちになったつもりで、
セリフを書いてみよう。

メモ

発行日　2021年4月1日

群馬県立歴史博物館

〒370-1293　群馬県高崎市綿貫町 992-1